

平成20年度 医薬品の登録販売者試験問題における出題の誤りについて

平成20年8月26日
千葉県健康福祉部薬務課
043-223-2624

平成20年8月12日(火)に薬事法に基づく、平成20年度登録販売者試験を実施しましたが、試験問題120問中、3問について誤りがあることが判明しました。

この問題は、埼玉県及び神奈川県と共同作成したものであり、3県で協議し、採点に当たって、受験者に不利になることがないよう配慮することなどの対応を確認しました。

今後、試験問題の作成にあたっては、これまで以上に慎重に内容の確認を行い、適切な試験業務の実施に努めてまいります。

1 概要

- (1) 試験の名称 平成20年度登録販売者試験
- (2) 試験期日 平成20年8月12日(火)
- (3) 試験会場 幕張メッセ国際展示場
- (4) 試験問題の誤り

試験問題120問中、計3問について以下の誤りがあることが判明しました。

正解が2つある問題・・・2問

正解が無い問題・・・・・・1問

2 採点上の取扱い

当該問題の配点は、受験者全員に加点します。

3 今後の対応

今後の試験問題の作成にあたり、これまで以上に慎重に出題内容の確認を行い、適切な試験業務の実施に努めてまいります。

なお、今回の誤りの一つは、厚生労働省が作成した「試験問題の作成に関する手引き」にあったことから、厚生労働省に対し、今後の手引き作成にあたり、慎重に対応していただくよう、申入れを行いました。

(参考)

平成20年度 医薬品の登録販売者試験問題における出題の誤りについて

1 登録販売者試験とは

一般用医薬品の販売を担う、薬剤師とは別の新たな専門家である登録販売者として、必要な資質を有することを確認するために都道府県知事が行う試験を「登録販売者試験」という。

厚生労働省は、試験の難易度等に地域格差が生じることがないように、また、一定水準の資質確認が担保されることを目的として、「登録販売者試験実施要領」を定めており、この要領には、出題の範囲、試験の実施方法や受験資格を定めるとともに、試験問題の作成にあたって、国が指導助言を行うことなどが規定されている。

2 経緯

(1) 平成20年8月19日(火)に、埼玉県、神奈川県及び千葉県が共同で作成した問題に疑義があることが判明した。

1つは、チェック漏れによるものと疑われた。また、もう1つは、出題の根拠である国が作成した「試験問題の作成に関する手引き」の記述の誤りが疑われた。

(2) 3県において、試験問題全体の再チェックを行ったところ、新たに1問に誤りが疑われる問題を発見した。

(3) 平成20年8月22日(金)に、登録販売者試験実施連絡協議会(埼玉県、神奈川県、千葉県)を開催し、試験問題の見直しを行い、3問の不適切な問題を確認し、その日のうちに、国に報告した。

(4) 平成20年8月25日(月)に、国に対し、誤りが疑われる部分の見解を示すこと及び手引き作成の慎重な対応について、3県連名で申し入れを行った。

(5) 平成20年8月26日(火)に千葉県として、3問の問題の誤りを確定し、受験者全員に加点することについて決定した。

3 誤って出題した問題について

(正解が2つある問題について)

問62

次のかぜ薬に配合される成分と、その代表的な副作用の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

- | | | | |
|---|----------------|-------|------------|
| 1 | リン酸コデイン | ————— | 薬物依存 |
| 2 | マレイン酸クロルフェニラミン | ————— | 便秘 |
| 3 | ベラドンナ総アルカロイド | ————— | メトヘモグロビン血症 |
| 4 | イブプロフェン | ————— | 動悸 |

正解 1及び2(当初予定した正解 1)

試験問題注意事項に「問に対する答えは、1つです。」と記載している。

問75

次の漢方処方製剤のうち、胃の不調を改善する目的で用いられるものはどれか。

- 1 牛車腎気丸 ^{ごしゃじんきがん} 2 葛根湯 ^{かっこんとう} 3 小柴胡湯 ^{しょうさいことう} 4 安中散 ^{あんちゅうさん}

正解 3及び4（当初予定した正解 4）

試験問題注意事項に「問に対する答えは、1つです。」と記載している。

（正解の無い問題について）

問100

次の尿糖、尿蛋白検査等に関する記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 泌尿器系機能及び血糖値が正常であれば、尿糖値は 160～180mg/dL 程度、尿蛋白値は 15mg/dL 以下である。
- b 尿蛋白値に異常を生じる要因は、腎機能障害によるものとして腎炎やネフローゼ、尿路に異常が生じたものとして尿路感染症、尿路結石、膀胱炎などがある。
- c 採尿のタイミングは、原則として尿糖の場合は起床直後、尿蛋白の場合は食後 1～2 時間とされている。
- d 正確な検査結果を得るためには、採尿直後の尿を用い、できるだけ長い時間検査薬を検体に浸した後、判定することが望ましい。

- 1 (a , b) 2 (a , d) 3 (b , c) 4 (c , d)

正解 なし（当初予定した正解 1）

aを正しい記述とするには、「～、尿糖値は 2～20mg/dL 程度、～」とするのが妥当と判断される。血糖値 160～180mg/dL 程度は、尿への糖排泄限度濃度とされており、これが混同されたものと考えられる。

4 試験科目及び出題数

科目	問題数
医薬品に共通する特性と基本的な知識	20問
人体の働きと医薬品	20問
薬事に関する法規と制度	20問
主な医薬品とその作用	40問
医薬品の適正使用と安全対策	20問

5 試験実施日等

試験実施日 平成 20 年 8 月 12 日(火)

合格発表日 平成 20 年 9 月 16 日(火)

6 受験者数等

出願者数 2,728人

受験者数 2,682人

欠席者数 46人